

愛媛県行政評価システム外部評価委員会 平成 26 年度外部評価結果について【総括】

1. 26 年度外部評価の実施内容について

9 部局（総務部、企画振興部、県民環境部、保健福祉部、経済労働部、農林水産部、土木部、えひめ国体推進局、教育委員会）を対象に評価を実施した。

評価対象の施策は、これまで外部評価を未実施であった 9 施策とし、各部局からヒアリングする事業については、一般財源はもとより基金や償還金等を財源とするものを含めて選定した。

評価の過程では、各施策の目標達成の観点から、事業成果の分析や実施手法の検証を通じて、説明責任の徹底や効果的な事業推進についての協議を行った。

その結果、予算の有効活用、成果指標の見直し、県民ニーズへの対応等に関する意見が出され、27 年度予算編成にも反映させることができた。

2. 外部評価結果への対応について

各部局においては、外部評価結果を踏まえて各事務事業の必要性の検討等を行い、可能なものから事業内容や実施手法の見直しが図られており、実行力について一定の評価ができる。

また、27 年度予算編成においては 5 件 39,490 千円の減額効果が認められた。

なお、県民への説明責任の確保の観点から、成果指標や評価・分析の内容を見直すなど、必要な改善が進められていると考える。

◎指摘への対応状況（詳細別紙）

外部評価委員会指摘：52 件

→対応状況 指摘を踏まえた改善：51 件

3. 評価結果のフォローアップについて

指摘を踏まえた改善に時間を要するものについては、評価結果の意図を十分ご理解の上、引き続き着実な改善を進めていくよう改めてお願いするとともに、当委員会としては、今後の具体的な検討状況を注視することとし、必要に応じて進捗状況等の報告を求める場合もあるので、ご協力をお願いしたい。

4. 27 年度外部評価について

27 年度の外部評価委員会においては、各部局における自律的な PDCA サイクルが有効に機能しているか、施策目標の達成に向けた成果分析が進められているか、また、評価内容を県民に分かりやすく伝えられているか等について、引き続き分析・検証を進めていきたい。

平成 27 年 3 月 16 日

愛媛県行政評価システム外部評価委員会
会長 牧野光昭